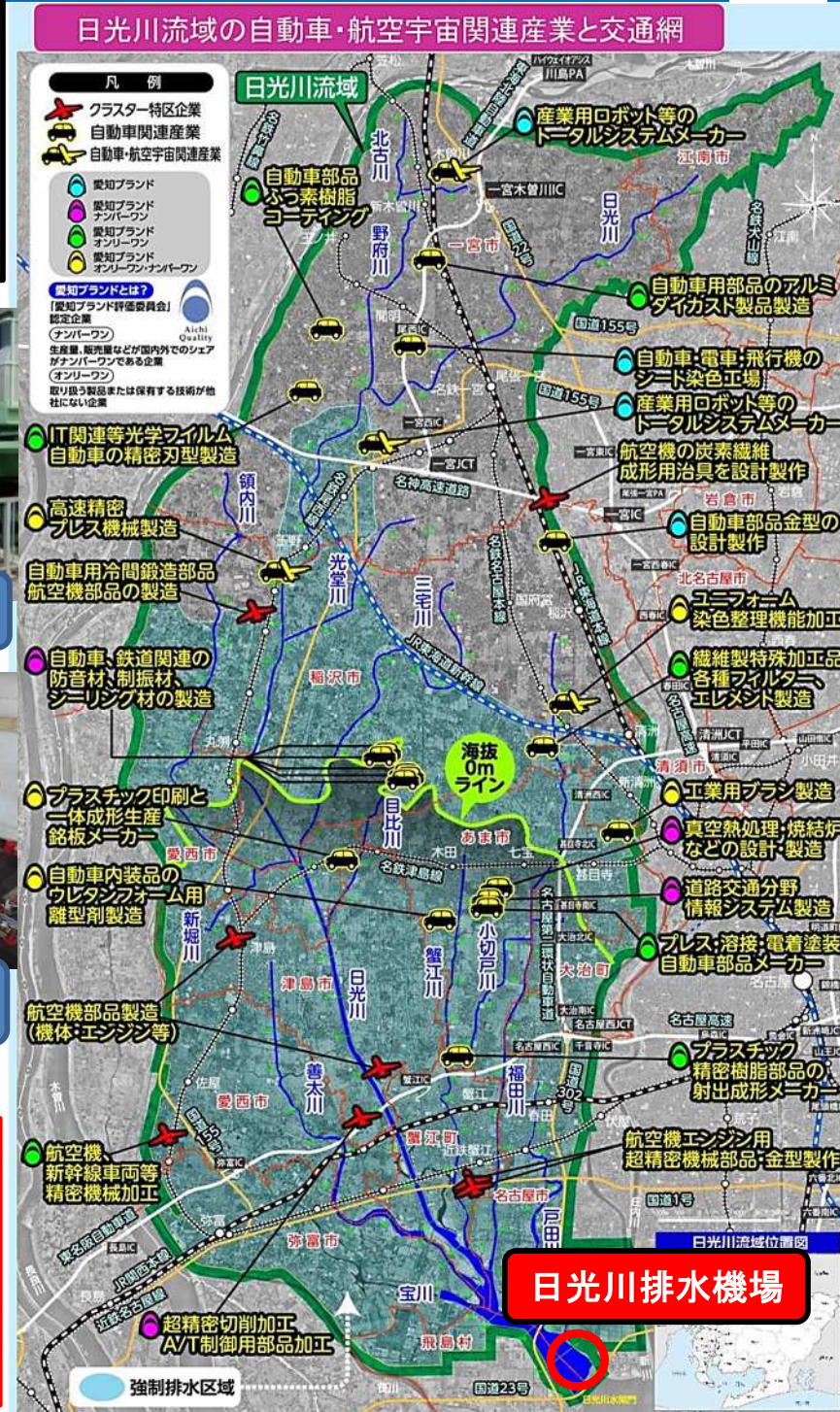


# 5か年加速化対策による愛知県河川事業の成果

日光川流域は40%が海拔ゼロメートル地帯、2/3がポンプ排水が必要であり、浸水に極めて脆弱な地域である。高潮などで水門が閉鎖されると海へ排水できなくなるため、日光川排水機場を稼動しポンプ排水(200m<sup>3</sup>/s)することで流域全体を浸水被害から守っている。流域の治水の要である日光川排水機場を長寿命化計画に基づき計画的に整備・更新することで、流域全体の浸水被害の軽減を図る。



## (1) [対策名]79-1 河川管理施設の老朽化対策

- ◆事業名 防災・安全交付金事業 (特定構造物改築事業) につこうがわはすいきじょう
- ◆河川名 日光川排水機場 (海部郡飛島村大字梅之郷地先)

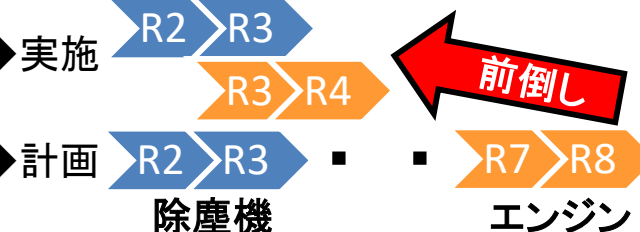


## (2) 事業概要

- ◆目的: 老朽化対策
- ◆総事業費: 8億円 (長寿命化計画総事業費: 168億円) (5か年加速化対策事業費: 7億円)
- ◆整備内容: 主ポンプ用エンジン 分解整備 N=3台 除塵機設備更新 N=1式



## (3) 事業スケジュール及び効果



【効果】

- 5か年加速化対策予算により、ポンプの正常な排水機能を確保。
- 自動車・航空宇宙産業のサプライチェーンを守り、日本経済の生産性を確保。